

第4回中学生交流プログラム

【台湾】

平成24年9月30日～10月7日

使節団派遣実施報告書

平成24年11月22日



一般社団法人国際フレンドシップ協会

台北市立介壽國民中學訪問、交流、文化紹介、ホームステイ



9月30日、1泊2日事前研修



10月1日、台北到着



立法院訪問



台北市内見学、訪問



バイクが多い

台北 101 ビル

医学大学訪問、交流昼食会

台北～台南

国立高雄師範大学と附属中学校訪問



新幹線（のぞみと同じ型）で台南へ

八田與一の作ったダム

高雄師範大学正門前

附属中学、科学の授業参加

台湾、食と人々



豆乳と万頭



お粥とおかず



熱賣中、
釈迦とう



美味しいフルーツ、気さくな果物屋さん



夜市

帰国、解団式



目 次

口絵 (1)~(2)

まえがき

I. 「第4回中学生交流プログラム」について	2
II. 台湾訪問団日程	3
III. 団員名簿	4
IV. 活動の記録	5
・ 2012年 9月 30日 結団式、事前研修	
・ 2012年 10月 1日 台湾到着	
・ 2012年 10月 2日 台北市内見学、台湾政府機関（立法院） 表敬訪問、故宮博物院、台北医学大学訪問、	
・ 2012年 10月 3日 台南市内見学	
・ 2012年 10月 4日 高雄師範大学・附属中学校訪問、交流、 日本文化紹介	
・ 2012年 10月 5日 台北市立介壽国民中学訪問、クラス見学、 交流と日本文化紹介	
・ 2012年 10月 6日 ホストファミリーとすごす、お別れ夕食会	
・ 2012年 10月 7日 帰国、解団式	
V. 感想文	9
・ 中学生交流プログラムに参加して	宮川 菜乃子 9
・ 台湾研修を終えて	酒井 帆海 9
・ 今回のプログラムを通して	中平 晴久 10
・ 中学生交流プログラムに参加して	松嶋 亜香里 10
・ 中学生交流プログラムに参加して	小板橋 遼 11
・ 今回のプログラムを終えて	室岡 樹 11
・ 学んだ事	笹崎 千陽 12

奥付

まえがき

「第4回中学生交流プログラム」（台湾への派遣）は、公益財団法人かめのり財団の支援を得て、当一般社団法人国際フレンドシップ協会が企画実施運営を行い、派遣については、2012年6月に団員募集を開始し、全国応募の中、書類審査と面接審査を経て、8月に7名の団員が決定しました。

本プログラムは海外研修と位置づけられ、出発前日に集合し1泊2日の事前研修と7日間の現地研修からなります。本小冊子では、各団員が研修の一環で分担した日にちごとの報告と全体の感想文を取りまとめ、記録にとどめます。

参加団員には、本記録を読み、各訪問先で出会った台湾の人々や温かく迎え入れてくれた中学校、大学、そしてホストファミリーの皆さんに感謝の気持ちを改めて感じ、そのときにそれぞれが考え、誓ったことをもう一度思い出してほしいと思います。さらに、一緒に過ごした団員が何を思い何を感じていたかを改めて慮る機会になれば幸いです。

Web等を通じて本小冊子をご覧になられた皆様には、とても親日な台湾と台湾の人々について知る機会となり、さらにはご自身の国際交流について考えるきっかけになればとスタッフ一同心より願っております。

2012年11月

一般社団法人国際フレンドシップ協会

I. 第4回中学生交流プログラムについて

一般社団法人国際フレンドシップ協会（IFA）では、28年間、「ジュニア大使友情使節団」（小学5年生から20歳未満の学生）の海外派遣を訪問先公的機関の後援で行っており、そうした経験により、公益財団法人かめのり財団からの依頼を受け、「中学生交流プログラム」の実施運営を平成22年度から担当しています。IFAはまた、23加盟国・地域から成る、アジア・太平洋国会議員連合（APPU：ASIAN-PACIFIC PARLIAMENTARIANS' UNION）中央事務局の運営を行っており、日本とアジア・太平洋地区の友好、交流の促進のために活動しています。

「第4回中学生交流プログラム」は、かめのり財団（2006年4月に文部科学省認可、2011年4月に公益財団法人となる。財団名は、創設者の康本健守〈やすもとけんもり〉の父・亀範〈かめのり〉に由来する）の活動資金により実施しています。かめのり財団の活動目的は、日本とアジア・オセアニアの若い世代との交流を通じて、未来にわたって日本と各国との友好関係と相互理解を促進するとともに、その懸け橋となる人材の育成を図ることにあります。

中学生交流プログラムの第1回は、2009年度（平成21年度）に中学生7名を中国に派遣、第2回は平成22年10月に中学生8名を韓国に、第3回は平成23年10月に中学生5名をマレーシアに派遣しました。平成24年度は、先の東日本大震災の際に多大な支援をくださった台湾を訪問先とし、全国公募を行い、7名を選抜しました。

同世代の中学生や現地の人たちと様々な形で交流し相互理解を図るとともに、外国語を学ぶことの意義や異なる文化間でのコミュニケーションの重要性、さらには台湾の歴史、社会、文化、教育等に対する理解を深めてもらいました。また、台湾の中学生にも日本に対する理解を深めてもらいながら、両国の友好関係の促進を図ることが目的です。

■関係機関

支 援	公益財団法人かめのり財団
実 施	一般社団法人国際フレンドシップ協会
受 入	台湾政府機関指定中学校（台北市立介壽国民中学）

■実施期間

平成24年9月30日（日）前泊、事前研修
平成24年10月1日（月）～10月7日（日）台湾研修、6泊7日

■団員 7名（全国公募を行い、応募者を作文審査と面接審査により選抜）

Ⅱ. 台湾訪問日程

	月日	都市	時間	交通	内容	宿泊
1	9/30 日	成田	13:30		集合、結団式 事前研修（台湾事情、国際マナーとエチケット、渡航安全対策、日本文化紹介練習等）	成田泊
2	10/1 月	成田 台北着	14:35 17:05	CI017 専用バス	成田空港発 台湾桃園国際空港着後、ホテルへ移動	ホテル泊
3	10/2 火	台北	終日	専用バス	市内見学（歴史、文化、産業） 台湾政府機関（立法院）表敬訪問 故宮博物館、台北医科大学、他	ホテル泊
4	10/3 水	台北 台南 高雄	午前 08:36 10:21 午後	専用バス 新幹線 621号 専用バス	移動（台北→台南） 台南市内見学（烏山頭ダム他） 移動（台南→高雄）	ホテル泊
5	10/4 木	高雄 台北	午前 午後 15:30 17:06	専用バス 新幹線 210号 専用バス	高雄師範大学見学（訪問、日本文化紹介）ならびに付属中学校にて交流 移動（高雄→台北） ホストファミリーと対面	ホームステイ
6	10/5 金	台北郊外	午前 午後	専用バス	台北市立介壽国民中学訪問 （クラス見学、交流と日本文化紹介）	ホームステイ
7	10/6 土	台北郊外 台北	終日 夕刻		ホストファミリーと過ごす ホストとともにホテルへ移動 お別れ夕食会	ホテル泊
8	10/7 日	台北 成田	08:55 13:05 14:00 14:30	専用バス CI100	ホテル発、空港へ移動 台北桃園空港発 成田空港着 空港にて解団式 解散	

Ⅲ. 団員名簿

NO	氏 名	男女	県	学 校 名	学年
1	宮川 菜乃子	女	福岡県	福岡雙葉中学校	中 2
2	酒井 帆海	女	福井県	福井大学教育地域科学部付属 中学校	中 1
3	中平 晴久	男	北海道	函館ラ・サール中学校	中 1
4	松嶋 亜香里	女	和歌山県	日高高等学校附属中学校	中 2
5	小板橋 遼	男	東京都	東京都文京区立第六中学校	中 2
6	室岡 樹	女	東京都	明星学苑中学高等学校	中 2
7	笹崎 千陽	女	東京都	東京都三鷹市立第五中学校	中 3
8	団長 山本 伸	男		一般社団法人国際フレンドシップ 協会 講師	

IV. 活動の記録

◆2012年9月30日（日） 結団式、事前研修

今日は初めて7人と顔合わせをしました。最初はとても緊張して話せなかったけど、時間が過ぎていくうちに話せるようになり、とてもうれしかったです。

先生方のお話は、私達が台湾に行ったときに、身につけて実践しようと思いましたが、台湾の現地の中学生と友達になりたいです。また、日本文化紹介の練習をしました。皆とても、技などが決まっていたので、私も、皆の足を引っばらないようにしようと感じました。夕食のテーブルマナーのルールをきちんと復習して、台湾で困らないようにしたいです。

明日からも、きちんと身をひきしめて行動します。

(宮川 菜乃子)

◆2012年10月1日（月） 台湾到着

午前の事前研修を終え、午後、私達は日本を離陸しました。飛行機に乗ること約3時間半。私達はついに台湾へ上陸しました。空港でのチェックや入国手続きなど、とても大人っぽいことも中学生の私達は達成することができました。

台湾では、これから研修期間中ずっとお世話になるガイドの李先生とお会いしました。台湾は午後5時半で、私達は早速、李先生とともにバスに乗り、ホテル・夕食会場のある台北へ移動しました。移動中バスの車窓からは様々な台湾の景色がたくさん見られました。看板に日本語が多く書かれていたり、バイクが主な移動手段だったり、他にもたくさんありました。

夕食会場では台湾らしい料理がたくさん用意されていました。初めての台湾料理に、なぜか食べる前にとっても緊張しました。食べてみると、日本とは少し違った風味や独特な香辛料の味がするなど、The 台湾という感じがとてもしました。口に入れるととてもおいしくて慣れない感じも楽しめました。

これからたくさんの台湾文化に触れて、日本との比較や文化の違いを楽しみたいです。

(酒井 帆海)

◆2012年10月2日（火） 台北市内見学
台湾政府機関（立法院）表敬訪問
台北医学大学訪問

今日は、立法院と台北医学大学に行きました。

立法院では、まずはじめに紹介のビデオを見せていただきました。日本の国会とはまた違った仕組みだったりしました。最も面白かったのは、各議員はそれぞれ院内に部屋を持っていて、その部屋のモニターから議会の様子を見ているだけで良いということです。

台北医学大学では、陳さんという人とお話ししました。陳さんは『ワンピース』のルフィが好きだそうです。僕も『ワンピース』をよく読みますから、共通の話題になり、最後にはメールアドレスを交換するほど仲良くなりました。初めての海外の人との通信なので、間違ったことをしないようにしたいです。

（中平 晴久）

◆2012年10月3日（水） 台南市内見学

鳥山頭ダム・公園は、台湾南部の台南市宮田区に位置するダムです。1920年に着工し1930年に完成しました。鳥山頭ダムと灌漑水路による水利設備「嘉南大圳」により嘉南平野は台湾有数の穀倉地帯となりました。

建設を監督したのは金沢出身の日本人、八田與一さんで、八田さんが建設を進めた鳥山頭ダムは、大型の工事機械を利用し粘土や砂礫を利用する先進的なロックフィルダムという型式で造られ、完成当時、世界最大のダムでした。

標高 66.66m、長さ 1,273m、高さ 56m、堰堤上の幅は 9m、底の幅は 303mです。「八田ダム」と学術的に呼ばれているそうです。専門的には「セミハイドロリックフィル工法」と呼び、この工法のダムはアジアでも今もここだけなので、国宝の美称が与えられています。

八田さんは、今でも現地の人々にとっても感謝され、ダムの近くには銅像も建てられています。

（松嶋 亜香里）

◆2012年10月4日（木） 高雄師範大学・附属中学校訪問
交流、日本文化紹介

今日は高雄師範大学とその附属の中学校に行った。高雄師範大学では、大学生と話したり写真をとったりした。その交流が終わってから、おかしなどをもらった。その後、附属の中学校に行って、一緒に給食を食べた後に課題をクリアしていく宝探しをやった。そして、最後に日本の文化紹介をした。とても喜んでくれていたのでとてもよかった。

高雄師範大学の大学生は英語の学科に入っていた。中学生はとてもフレンドリーでよく話しかけてきてくれた。とてもうれしかった。

その後の夜は、レストランで料理を食べた。とてもおいしかったが、辛い料理がとてもたくさんあった。

料理を食べ終わった後にコンビニに行った。あまり日本と変わったものはなかったが、逆に同じものがたくさんあった。僕はジュースとクッキーを買った。

（小板橋 遼）

◆2012年10月5日（金） 台北市立介壽国民中学訪問
交流、日本文化紹介、ホームステイ

今日は、朝（8時20分）から介壽中学校を訪問しました。その中学校に入る前にはもう、中学生の方々が待っていてくださっていました。とても嬉しかったです。その後、校長先生などのお話をうかがいました。その時に、校長先生がタピオカミルクティーをわたし達に買っておいってくださいました。また、中学生の方々にケーキやフルーツなどをいただきました。そこでわたしは、初めてドラゴンフルーツやグアバをいただきました。グアバは、ジューススタンドで飲んだことはありますが、生で食べたことがなかったので、食べる事ができて良かったです。味はジュースの方がおいしく感じました。

自己紹介がすんだ後、学校の見学をしました。授業見学では、英語と体育に参加しました。台湾の中学生の英語はとても素晴らしかったと思います。そしていよいよホームステイです。ホームステイ先のお母さんとお父さんはとても優しく日本語が上手な方々でした。夜には夜市につれていってもらい、酒井さんと中平くんの家族の大勢で行きました。とても楽しかったです。明日は中平くんの家族と野球をしてから台北101に行くので、とても楽しみです。

（室岡 樹）

◆2012年10月6日（土） ホームステイ

今日は、ホストファミリーとともに、1日台湾めぐりをしました。ホストの方々
は、本当に温かく迎えてくれ、私も緊張がほぐれました。

この日は台湾めぐりということで、港の方の淡水へ行ったり、台北 101 から
台湾の景色を楽しみました。お昼ごはんも、私のためにと、おいしい台湾料理
を食べさせていただきました。なんだか、本当の家族のようで、嬉しかったです。
そんな家族のような温かい方たちと食べた料理の味は、絶対に忘れません。

今回、私を迎えてくれた可欣（クーシン）は、とても優しく、私にとって
の大切な、大切な友達です。夜はホストファミリー全員での食事会でした。

いつでも笑顔のたえない私たちは、本当に幸せなんだ、と感じました。

食事を終え、可欣たちとお別れするときは、つい涙をこぼしそうになりまし
た。悲しかったです。けれど、2度と会えないわけではないので、また会えたら
よいと思います。

私は、たくさんの人への感謝を忘れません。

（笹崎 千陽）

◆2012年10月7日（日） 帰国、解団式

台湾研修もあっという間に終わってしまいました。長いようで短かった台湾
研修の間、私達 7 名はたくさんのことを学びました。私は異文化を楽しむ・人
との交流を大切にする、ということを達成できました。これは団員全員が達成
できたと思います。

「異文化を楽しむ」では、台湾の中学校の授業体験の際、発表のために手を
上げる手がグーでした。わけをホストにきくと、昔からの台湾の文化だそうで
す。とても興味深くなりました。

「人との交流を大切にする」では、言語も大切ですが、現地の方々と心のコ
ミュニケーションをとることができたかなと思います。いえ、できました。

台北 101、夜市などといった台湾の観光スポットへも足を運び、台湾での楽し
い思い出もたくさんできました。団員同士助け合う姿もたくさんあり、足りな
いところはみんなで補うということもしっかりできていました。そして、団員 7
人の絆は強く結ばれました。

また、私達の台湾研修に関わってくださった皆様に本当に感謝しています。
このような貴重な体験ができて私達は幸せです。ありがとうございました。

（酒井 帆海）

V. 感想文

中学生交流プログラムに参加して

福岡雙葉中学校 2年
宮川 菜乃子

短期間で自分が成長したと感じられたのは、今回初めてです。台湾では私は、中学校訪問が一番楽しかったです。高雄で、給食の時間、おせんべいをもらったのがとてもうれしかったです。また、英語力にとっても感激しました。私は、書いて読んで聞くことは得意ですが、会話力はイマイチでした。台湾から帰って、友達と英語をより話す回数が増えたり、ホームステイの人と Facebook で会話するようになりました。また中国語も勉強するようになりました。今回、短い時間でしたが、刺激をとっても受けて、がんばろうという気持ちになりました。

団員との絆は一生消えることのない大切な宝物です。団員と台湾にこのメンバーで行こうと約束できて、本当にうれしかったです。日本に帰るとき、少し悲しかったけれど、国を離れていても、友情は消えることがないと感じました。このことを胸にとめ、もう一歩成長できるようにいつも物事を吸収します。今回は、ありがとうございました。

台湾研修を終えて

福井大学教育地域科学部附属中学校 1年
酒井 帆海

台湾研修の中で一番印象に残っていることは、やはりホームステイです。

ホームステイ中、日本人は私だけ、普段と違う生活スタイルなどなど。たくさん初めてのとぶつかりました。しかし、なぜか戸惑いはありませんでした。そのような状況を大いに楽しむことができました。

会話は主に英語でしたが、私はホストのように完璧ではありません。なので、自分の言いたいことがうまく相手に伝わらなかったりすることも何度もありました。うまく伝わらないとあまり交流ができないので、そこを改善したいです。

本当に貴重で最高の体験をすることができて幸せです。国際交流がどれだけ楽しいものなのかわかったので、これからどんどん国際交流を楽しんでいこうと思います。

今回のプログラムを通して

北海道・函館ラ・サール中学校 1年
中平 晴久

今回の中学生交流プログラムは、僕にとって大変有意義なものになりました。何が有意義だったかと言うと、台湾では、英語科の授業の内容はほとんど変わらないけれども、英語を喋りなれているということです。はじめ、英語科の授業を見たときは、内容があまり変わらないことに安心していましたが、少しずつ見ていくうちに、生徒さんが喋る英語がとても発音が良いことに気がつきました。僕は英語が苦手な方ではないのですが、たぶん台湾の学校に入学することになったら、英語の成績はかなり落ちると思います。今回は国内の中学校を見学するのも貴重なことなのに、ましてや海外の中学校を見学させていただくという、大変貴重な体験をさせていただきよかったです。

今回のプログラムを、色々なことに活かしていけたらよいなと思いました。

中学生交流プログラムに参加して

和歌山県・日高高等学校附属中学校 2年
松嶋 亜香里

今回のプログラムに参加して私は、たくさんの事を学び、たくさんのものを自分の目で見て、たくさんの人たちと触れあいました。本当に素晴らしい体験でしたので、とても心の中に印象強く残っています。その中でも、さらに印象強く残っているのが、ホームステイです。

ホームステイは、前からずっと楽しみにしていたことです。私はまだホームステイをしたことがなかったのでどんなものなのだろうと、とても興味がありました。そして実際、ホームステイをしてみると本当に本当に楽しかったです。ホストファミリーのみなさんには、親切にいただきました。たった一泊二日という短いホームステイでしたが、とても心に残りました。

これからこのような機会があれば、自分に自信を持ち積極的に参加していきたいと思いました。

中学生交流プログラムに参加して

東京都文京区立第六中学校 2年
小板橋 遼

今回の台湾での交流プログラムは、今まで僕が海外へ行った中で一番良い経験になりました。良い経験とは単なる旅行とはちがって国際的な経験のことで、普通の中学生にはなかなかできない経験ができて本当に良かったです。

全ての訪問がとても良い経験でしたが、その中で大学や中学などの学校訪問と台湾の中学生の家庭にホームステイしたことがとても良かったです。

学校訪問では大学に訪問した時は全て英語で話したので日本ではなかなかできない体験をすることができました。中学校では一緒にゲームをしたり、授業を受けたりしました。

台北の介壽中学校の生徒の家庭にホームステイを引きうけてもらい、夜市や台北 101 に連れていってもらいました。今度は自分の家庭がホストファミリーになって恩を返したいと思います。

今回は本当に良い経験になりました。IFA の皆さん、そして団長をしてくれた山本先生。お世話になりました。この経験をこれからの人生に生かして、世界で活躍できるようになりたいと思います。本当にありがとうございました。

今回のプログラムを終えて

東京都・明星学苑中学高等学校 2年
室岡 樹

今回このプログラムに参加して、この先、ずっと仲良しでいたいと思える新しい大切な仲間や、台湾でも大切な友達、家族ができました。また、このプログラムで自分の反省点や、これからよりよくしていこうという点などがうかび上がってきました。それを改善、持続していこうと思います。

わたしが今回のプログラムで特に印象深く残っているのは、三つあります。一つは、台湾の中学生の英語のレベルです。日本よりもハイレベルで、団長も含め団員全員が驚いていました。二つ目は、立法院での尖閣諸島の問題です。これを生で見て初めて台湾の立場が分かりました。そして最後は団員と素晴らしい仲間だと思えるようになったことです。はじめはカチカチだった団員と話せるようになったことが嬉しかったからです。

このようなプログラムに参加できて、良かったと思います。

学んだ事

東京都三鷹市立第五中学校 3年
笹崎 千陽

私が今回台湾へ行って一番印象に残っているのは、ホームステイです。ホストファミリーの方は、本当に温かく迎えてくれ、不安と緊張が嘘のように笑顔で楽しく過ごすことができました。言葉の壁というのがあったのにも関わらず、お互いのジェスチャーなどで、言いたいことや伝えたい事がしっかりと伝わりました。そんな温かく迎えてくれたホストの方が、なんだか本当の家族のように思えました。

やはり、国と国、人と人との関わりは、とても大切だな、と改めて思いました。

他にも、事前研修では、国際マナー、ルール、出発において大切な事を学びました。それは、この先私が生きていくうえで、必要となる事だと思います。私は、今回台湾へ行くにあたり、お世話になった方々、すべての人に感謝します。ありがとうございました。

以上

本プログラムに情報提供ならびにご協力くださった皆様に
心より感謝申し上げます。

(順不同、敬称省略)

台湾

台湾 教育部

台北市立介壽國民中學

前校長 葛虹

校長 林財瑞

主任教師 陳孟欣

英語教師 賴佳虹 (Ms. Joyce LAI)

台北医学大学 Prof. Chung-Jen

国立高雄師範大学ならびに附属中学校

Dr. Jade Lee

Prof. 朱雯娟

Prof. 郭榮升

Prof. 澤田深雪

Prof. 李金鶯 (附属中学校長)

秘書 辛慧如

研發處推合組

立法院 劉

電気店店主 林弘杰

大宝旅行社 林恭正

現地ガイド 李燕光

日本

公益財団法人かめのり財団 理事・事務局長 西田浩子

台北駐日経済文化代表処 文化部次長 林 黙章

公益財団法人交流協会 東京本部 総務部副長 長谷川綾子

日本通運株式会社 係長 斎藤正明

成田ビューホテル 宿泊支配人 斉藤浩文

第4回中学生交流プログラム報告書

平成24年11月22日

実施・運営 一般社団法人国際フレンドシップ協会

〒106-0041 東京都港区麻布台3-4-12

麻布台ロイヤルプラザ502号

実施責任者 及川 伊佐子

電話 03(3582)3021 FAX 03(3582)3010

Web: <http://www.ifa-japan.org>